

平成22年度 事務事業評価

整理番号
6-16

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	04	10	01
細事業名		まるごと観光情報システム構築事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	情報政策課
担当課長の氏名	吉岡 敬恭
担当者の氏名	藤田 敏弘

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ⑤ 観光の振興 施策方針 7 情報発信の強化
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市観光振興計画にある「極上のふるさと観光づくり」を推進するため、自然・温泉・食・歴史・文化といった恵まれた地域資源を集約し、「京丹後まるごと観光」を支える情報システムを構築する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 観光ポータルサイト 25万アクセス/月

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) システム要件を具体化するための検討・調整を実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		0	合計		0

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>×</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">システム要件等の具体化に時間を要したことから、平成22年度へ全額を繰越してシステムの構築を行う。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	×	○ 進捗している(できている)	理由	システム要件等の具体化に時間を要したことから、平成22年度へ全額を繰越してシステムの構築を行う。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
×	○ 進捗している(できている)	理由	システム要件等の具体化に時間を要したことから、平成22年度へ全額を繰越してシステムの構築を行う。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)							
	× 遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>		○ 削減の余地がなかった	理由			▲ 少し削減の余地があった	
	○ 削減の余地がなかった	理由						
	▲ 少し削減の余地があった							
	× 削減の余地があった							

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	平成21年度から繰越して、観光ポータルサイト等のシステム構築を実施する。
	C	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	観光ポータルサイトの運営主体は、市観光協会を予定しているが、民間情報サービス企業も参画してシステム利用料や広告料などを収入源することとし、市が直接的に運用費の負担を行わない計画としている。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
37-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	08	05	01
細事業名		ブロードバンドネットワーク整備事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	情報政策課
担当課長の氏名	吉岡 敬恭
担当者の氏名	道家 城作

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑨ 地域情報化の推進 施策方針 1 地域情報インフラの整備
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	民間による光ブロードバンドサービスの展開が見込めないことから生じている情報インフラ整備の遅れを解消するため、光ファイバケーブル網などの情報通信基盤を市が整備し、民間事業者に貸し出してケーブルテレビや光インターネットのサービスを市内全域に実施。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 光ブロードバンド利用可能世帯 全世帯 光インターネット加入世帯 7,700世帯 ケーブルテレビ加入世帯 9,500世帯

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	幹線光ケーブルについては、平成20年度から繰越して引き続き架設工事を行い全域での整備を完了した。また、ケーブルテレビのスタジオ整備、センター用放送機器設置の工事についても完了した。さらに、加入申込者に対して、光ケーブル引込工事及びケーブルテレビ加入宅接続工事に着手し、平成22年12月1日より工事が終わった加入者宅から順次サービスを開始した。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	光インターネット利用開始世帯 3,600世帯 ※平成21年度工事済分 ケーブルテレビ利用開始世帯 2,000世帯 ※平成21年度工事済分

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
財源内訳	4,7	805	国庫支出金	
	7	689	府支出金	
	9	121	起債	
	11	866	分担金・負担金	
	12	5,353	その他	
	13	2,920		
	14	26		
15		一般財源	10,780	
事業費合計		10,780	合計	10,780

CHECK	
評価	<p>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</p> <p>▲ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)</p> <p>理由 事前申込で、今年度の引込工事予定数(6,500戸)を早期に大きく上回る申込があったため、これに対応して前倒しで追加の工事発注を行った。引込工事が済んだ加入者から順次サービス開通となり、光ファイバ網等の情報通信基盤によってブロードバンドサービス(光インターネット、ケーブルテレビ)が本市でも利用できるようになった。</p> <p>○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった</p> <p>理由 光ケーブル引込工事及びケーブルテレビ加入宅接続工事は、加入申込数分だけを一括発注して施工を行なった。</p>

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	C A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 平成19年度から実施してきた情報通信基盤施設整備は、平成22年度で初期整備を終了する。
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由

平成22年度 事務事業評価

整理番号
37-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	08	05	02
細事業名		ブロードバンドネットワーク運営事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	情報政策課
担当課長の氏名	吉岡 敬恭
担当者の氏名	赤松 正伸

PLAN							
総合計画 (前期基本計画)	<table border="1"> <tr> <td>基本方針 (政策)</td> <td>VI うるおい安全都市</td> </tr> <tr> <td>計画項目 (施策)</td> <td>⑨ 地域情報化の推進</td> </tr> <tr> <td>施策方針</td> <td>1 地域情報インフラの整備</td> </tr> </table>	基本方針 (政策)	VI うるおい安全都市	計画項目 (施策)	⑨ 地域情報化の推進	施策方針	1 地域情報インフラの整備
基本方針 (政策)	VI うるおい安全都市						
計画項目 (施策)	⑨ 地域情報化の推進						
施策方針	1 地域情報インフラの整備						
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	<p>市が整備した光ファイバ網等の情報通信基盤を維持管理し、光インターネット及びケーブルテレビのサービスの安定な利用を可能にする。また、ケーブルテレビでは自主放送番組によって市からのお知らせをテレビ放送で行うとともに、各地域の話題を提供することで京丹後市としての一体感を醸成する。</p>						
事業の目的	<p>平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</p> <p>保守対象の光ケーブル引込数 14,000戸</p>						

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	<p>平成20年度以前に整備した久美浜町の佐濃・川上地区、平成21年度に工事が終わった幹線光ファイバ網及び簡易シェルター等について、情報通信設備の維持管理を行った。また、ケーブルテレビの自主放送チャンネルでは、ケーブルテレビ会社へ制作を委託し、市政だより番組を12月から放送した。議会中継についても12月定例会の一般質問から生中継でのテレビ放送を始めた。</p>
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	<p>保守対象の光ケーブル引込数 6,400戸</p>

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
予算科目	11	10,954	国庫支出金	
	12	176	府支出金	
	13	13,683	起債	
	14	9,733	分担金・負担金	
			その他	情報通信施設貸付収 1,896
			一般財源	32,650
事業費合計		34,546	合計	34,546

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設整備が終わった部分から順次、維持管理を開始した。また、ケーブルテレビの自主放送番組の制作委託や議会中継を平成21年12月から始めた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設整備が終わった部分から順次、維持管理を開始した。また、ケーブルテレビの自主放送番組の制作委託や議会中継を平成21年12月から始めた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)	
	○ 進捗している(できている)	理由			施設整備が終わった部分から順次、維持管理を開始した。また、ケーブルテレビの自主放送番組の制作委託や議会中継を平成21年12月から始めた。		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)							
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成21年度は、工事完了後の幹線光ファイバの移設工事、簡易局舎用地の借上料や電気使用料など、経費削減が見込まれない支出が主であった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	平成21年度は、工事完了後の幹線光ファイバの移設工事、簡易局舎用地の借上料や電気使用料など、経費削減が見込まれない支出が主であった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった		
○ 削減の余地がなかった	理由			平成21年度は、工事完了後の幹線光ファイバの移設工事、簡易局舎用地の借上料や電気使用料など、経費削減が見込まれない支出が主であった。			
▲ 少し削減の余地があった							
× 削減の余地があった							

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	社会インフラとして求められる信頼性のレベルを保ち、障害発生頻度を抑えるなど、適正で効率的な保守管理を継続して実施する。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	平成22年度で初期整備を終え、今後は追加申込はあるが、基本的には現状施設の維持管理になる。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
37-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	08	06	01
細事業名		地域情報交流モデル構築事業				

担当部局	担当課長の氏名
企画総務部	
担当課等	担当者の氏名
情報政策課	吉岡 敬恭
	藤田 敏弘

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑨ 地域情報化の推進 施策方針 1 地域情報インフラの整備
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	インターネット上で地域や世代や業種を越えて、広範にまた密に情報交流を行い、つながりを強め、異業種間のマッチングや商品・事業のPRを活性化し、ビジネスチャンスの拡大や雇用の創出へと結びついていくことを目的に、ビジネスSNS「T-WAVE(ティー・ウェーブ)」を構築した。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 会員数 700人 サイトへのアクセス数 40,000アクセス/月

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	サイトを安定的に運営し、各種イベントや各種メディアを活用して市内外のPR活動を引続き行って会員を増やすとともに、機能の拡張として、事業者会員が商品紹介や工房・農業などの体験案内に関する広告機能や、消費者会員に対して来店を促進するクーポン機能などを追加で構築した。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	会員数 572人 サイトへのアクセス数 75,000アクセス/月

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	9	49	国庫支出金	地域ICT利活用モデル 17,101
	12	1,518	府支出金	
	13	11,346	起債	
	14	4,859	分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	671
事業費合計		17,772	合計	17,772

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか <input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) 理由 会員外からの閲覧を含めたサイトへのアクセス数は目標の約1.9倍となり大きく上回った。一方、会員数は都市部在住者や若年層での伸びが低かったため、事業目標会員数の約8割にとどまった。 <input type="radio"/> 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか <input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった 理由 国からのモデル事業として委託契約を締結し、事業計画に基づいて事業を実施。 <input type="radio"/> 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 C A 現状維持 B 内容の見直し 理由 国からのモデル事業としての委託期間(平成19年度～21年度)が終わり、平成22年度には民間組織でのサイト運営へ移行する。 C 統廃合・休止・終了
	事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 理由 C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価

整理番号
37-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	08	07	01
細事業名		携帯電話エリア整備事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	情報政策課
担当課長の氏名	吉岡 敬恭
担当者の氏名	井上 和也

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑨ 地域情報化の推進 施策方針 1 地域情報インフラの整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 携帯電話のサービスが利用できない市内8地区で、市が携帯電話基地局を整備し、携帯電話事業者へ利用を許可することで、サービスエリア化する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 新たにサービスエリアになると見込まれる世帯 58世帯

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 8ヶ所の携帯電話基地局を整備するため、地質調査・測量及び設計を行い、工事に着手した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	13	3,727	財源内訳	国庫支出金		
	14	2		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		3,729
				合計		3,729

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>×</td> <td>○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)</td> <td>理由</td> <td>新たに開発された簡易型の携帯電話基地局で整備することになったため、基本設計に日数を要するなど工程に遅れが生じ、平成22年度でのサービス開始となった。</td> </tr> </table>	×	○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)	理由
×	○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)	理由	新たに開発された簡易型の携帯電話基地局で整備することになったため、基本設計に日数を要するなど工程に遅れが生じ、平成22年度でのサービス開始となった。	
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった</td> <td>理由</td> <td>携帯電話基地局としての通信施設基準を満たすため、地質調査・測量業務及び設計業務を入札で実施。</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった	理由
○	○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった	理由	携帯電話基地局としての通信施設基準を満たすため、地質調査・測量業務及び設計業務を入札で実施。	

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了</td> <td>理由</td> <td>平成22年度へ繰越して、8か所の基地局施設工事及び通信機器の設置を行い、工事完了後、携帯電話事業者へ利用許可をしてサービスを開始。</td> </tr> </table>	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由
A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	平成22年度へ繰越して、8か所の基地局施設工事及び通信機器の設置を行い、工事完了後、携帯電話事業者へ利用許可をしてサービスを開始。	
改善	事業規模の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>C</td> <td>A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小</td> <td>理由</td> <td>平成21年度の携帯電話基地局の整備で、5世帯程度の集落までのエリア化ができた。</td> </tr> </table>	C	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由
C	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	平成21年度の携帯電話基地局の整備で、5世帯程度の集落までのエリア化ができた。	

平成22年度 事務事業評価

整理番号
37-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	08	01	01
細事業名		行政情報システム運営事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	情報政策課
担当課長の氏名	吉岡 敬恭
担当者の氏名	木村 裕一

PLAN							
総合計画 (前期基本計画)	<table border="1"> <tr> <td>基本方針 (政策)</td> <td>VI うるおい安全都市</td> </tr> <tr> <td>計画項目 (施策)</td> <td>⑨ 地域情報化の推進</td> </tr> <tr> <td>施策方針</td> <td>2 電子自治体の推進</td> </tr> </table>	基本方針 (政策)	VI うるおい安全都市	計画項目 (施策)	⑨ 地域情報化の推進	施策方針	2 電子自治体の推進
基本方針 (政策)	VI うるおい安全都市						
計画項目 (施策)	⑨ 地域情報化の推進						
施策方針	2 電子自治体の推進						
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	効率的な行政事務を支える基盤として、住民情報(住民基本台帳、課税等)や財務会計などの事務処理システム、また職員間・組織間での各種連絡及び情報共有システムなどの運営を行う。さらに、市役所の窓口に出向かなくてもインターネットを通じて行政サービスが受けられるよう、電子申請等を進める。						
事業の目的	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)						
共同利用システム数	9						
電子申請手続数	152						

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	サーバ・パソコン・プリンタなど情報機器の維持管理、住民情報システム・財務会計システムなど業務システムの運用、電子メールや職員用情報共有サイトのシステム運用、さらに、安全対策・セキュリティ対策を実施した。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	共同利用システム数 9 電子申請手続数 2

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	9	91	国庫支出金		
	11	3,145	府支出金		
	12	48	起債		
	13	22,687	分担金・負担金		
	14	2,755	その他		
	18	5,829			
	19	19,475	一般財源		54,030
事業費合計		54,030	合計		54,030

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">行政事務システムや職員ポータルシステムが安定的に稼動するようにシステムの維持管理を行うことで、行政事務の効率化推進、あるいは各市民局での窓口サービス等を提供している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	行政事務システムや職員ポータルシステムが安定的に稼動するようにシステムの維持管理を行うことで、行政事務の効率化推進、あるいは各市民局での窓口サービス等を提供している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	行政事務システムや職員ポータルシステムが安定的に稼動するようにシステムの維持管理を行うことで、行政事務の効率化推進、あるいは各市民局での窓口サービス等を提供している。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">システムの共同利用によって導入及び運用コストを抑えている。さらに、機器の調達や維持管理を含めたトータルコスト節減への取り組みをさらに強める。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	システムの共同利用によって導入及び運用コストを抑えている。さらに、機器の調達や維持管理を含めたトータルコスト節減への取り組みをさらに強める。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	システムの共同利用によって導入及び運用コストを抑えている。さらに、機器の調達や維持管理を含めたトータルコスト節減への取り組みをさらに強める。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	本事業の情報システムは、システム調達及び運用管理での経費節減に取り組んでいくものの、行政事務においても、市民向けの窓口サービスとしても欠くことができない。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	行政システム化の対象範囲は変わらないが、次期システム更新時に、初期費用やデータ移行費等が一時的に発生する。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
37-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	08	02	01
細事業名		地域公共ネットワーク運営事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	情報政策課
担当課長の氏名	吉岡 敬恭
担当者の氏名	井上 和也

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑨ 地域情報化の推進 施策方針 2 電子自治体の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市庁舎、小中学校、公民館など公共施設約200施設を光ファイバ網で結んで、行政情報の提供や施設間の情報共有を図るとともに、市ホームページから行政情報、議会中継、ライブカメラ映像など市内外への情報発信を進める。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 地域公共ネットワーク接続施設数 197施設

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域公共ネットワークを構成する自営光ファイバ網・センター機器・接続施設端末機を運用管理するとともに、京都デジタル疎水へ接続する通信機器の更新を行い、安定した通信環境を維持した。さらに、コンピュータウィルスや不正アクセスの防御などセキュリティ対策を実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 地域公共ネットワーク接続施設数 197施設

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	5,163	財源内訳	国庫支出金	
	12	8,391		府支出金	
	13	32,662		起債	
	14	35,454		分担金・負担金	
	18	1,187		その他	
			一般財源	82,857	
事業費合計		82,857	合計		82,857

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域公共ネットワークでの情報通信が安定して行えるよう、光ファイバ網や通信機器の維持管理、またセキュリティ対策を施している。これにより、庁舎間での連絡や窓口サービスが実現できているほか、インターネットを通じた行政情報の提供や議会中継、小中学校での情報化などについても、情報基盤として活用している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	地域公共ネットワークでの情報通信が安定して行えるよう、光ファイバ網や通信機器の維持管理、またセキュリティ対策を施している。これにより、庁舎間での連絡や窓口サービスが実現できているほか、インターネットを通じた行政情報の提供や議会中継、小中学校での情報化などについても、情報基盤として活用している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	地域公共ネットワークでの情報通信が安定して行えるよう、光ファイバ網や通信機器の維持管理、またセキュリティ対策を施している。これにより、庁舎間での連絡や窓口サービスが実現できているほか、インターネットを通じた行政情報の提供や議会中継、小中学校での情報化などについても、情報基盤として活用している。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">光ファイバ網の維持管理については、ブロードバンドネットワークで整備した伝送路と一東化することで、電柱使用料の削減を行ったが、さらに維持管理面での共通化によって経費を削減していく。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	光ファイバ網の維持管理については、ブロードバンドネットワークで整備した伝送路と一東化することで、電柱使用料の削減を行ったが、さらに維持管理面での共通化によって経費を削減していく。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	光ファイバ網の維持管理については、ブロードバンドネットワークで整備した伝送路と一東化することで、電柱使用料の削減を行ったが、さらに維持管理面での共通化によって経費を削減していく。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性	理由	接続施設の利用形態について、端末機の配置、ブロードバンドネットワークサービスの活用とあわせ、見直しを行う。
	A 現状維持		
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性	理由	センター機器の更新時に、自営設置から民間サービス利用へ代替可能なものは移行する。
	A 事業拡大		
B 現状維持			
C 事業縮小			